



NO. 571
発行
2006・5月15日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部



地方から共闘・共同の取組み

2006春闘勝利 ダンブトラックデモ 出発集会



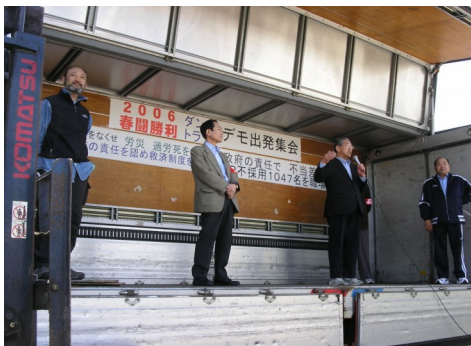
四月十三日、『二〇〇六年春闘勝利ダンブ・トラックデモ出発集会』が、新潟市「近鉄物流」で開催、県労連・建交労の仲間と国労、四〇名が結集しました。ダンブ・トラックは、新潟市内を一五台が並んで走り街宣、多くの市民に訴えました。

『近鉄物流』の会場に九時に集合しダンブ・トラックの側面や前面にスローガンを書いた横断幕を、はり出発集会を開催、一時に出発しました。

県労連 山崎議長あいつ

市内へアピールをし
労働者を激励し

横断幕の準備が終了し出発集会が開催、県労連の山崎議長は「素晴らしい天気になった。いつもは晴れないが、今日はふさわしい天気になった。国会での行政改革」さまざまな悪法が出されている。憲法九条が危機的状况。悪政を許さない闘いを。規制緩和で安全・安心な方向へ行かない状況だ。春闘など、まだまだこれからという状況、県内の労働者を大きく激励し市内へアピールしていく」とあいさつされました。



守橋委員長あいつ

地本守橋委員長は集会で「はじめての参加。国鉄闘争について、国会で政府の責任で解決を取り付けたい。具体的に要求する窓口が無い。統一要求がされていない。地方から共闘の取組み、大衆行動が重要。このことが重要だ」とあいさつしました。



建交労員本部 杉崎委員長あいつ

杉崎委員長は「横断幕の課題が多くなった。原油高騰で燃料が実際にかかっている。政治の課題が多くなっている。近鉄物流の名称が売られた。政治は戦争して儲けようとしている。それは大企業にとって魅力的。あらゆる分野でがんばるしかない。トラック・ダンブにはられた、スローガンを覚えて欲しい」と訴えました。



建交労の多くの仲間からあいさつ決意が訴えられました。集会最後に団結がんばろうを、力強くおこない十一時に、新潟市「近鉄物流」を出発しました。



一日も早い解決を



最後まで雨のメーデー

第七七回メーデーが五月一日県内各地で開催されました。新潟市では新潟県中央メーデーが新潟市陸上競技場で開催、七〇〇名が結集。

県労連中央メーデーは新潟市西大畑公園で開催、一三〇〇名が結集しました。

『働くものの団結で生活と権利を守り平和と民主主義、中立の日本をめざそう』をメインスローガンに。

各団体、労組など多くの課題を抱えながら闘っている状況、決意が訴えられました。

県労連中央集会は、開会から雨が降りしきり、各団体のあいさつや文化行事など困難な状況でした。

国労を代表して新潟支部渡辺委員長は、『国鉄闘争の一日も早い解決を

一〇四七名問題が解決しないかぎり国鉄改革は終わらない。安全・安定輸送を全力を上げて守らなければなら

ない』とあいさつしました。

雨はデモが終る一二時頃まで降り続いていました。退職者組合の参加者も、こんなメーデーは珍しいと話

第77回メーデー



していました。終了後、地本事務所二階で懇親会その後、二次会など盛り上がりました。



JR不採用事件の早期解決を求める全国キャラバンが、五月一四日から展開し新潟地本へは、六月七日秋田地本より、酒田支部に引継ぎ九日まで新潟地本、各支部でさまざまな行動が展開されます。

各支部では、単組・団体への要請集会などの開催が計画されています。八日は、新潟県や北陸信越運輸局への要請が計画されています。各行動への組合員の参加をお願いします。

全国キャラバン スタート

新潟は6月7~9日 8日は要請行動

